

チェンジ・メイカー育成プログラム（第6期）

開催期間：2024年9月27日～11月21日

主催：立命館東京キャンパス

共催：ジャパンラーニング株式会社



ジャパンラーニング株式会社



チェンジメイカーとは…

=課題の本質を見極め、試行錯誤を繰り返して状況を変化させられる課題解決・変革型人材=

群馬県片品村の協力を得、東京での事前ワーク・セッションと現地でのフィールドワークを通して、地域の課題の発見と解決を行いながら、受講生一人ひとりが「チェンジ・メイカー」になることを目指す実践型の人材育成プログラム

【プログラム概要】

多様なバックグラウンドを有する受講生4名で1つのチームを組み、片品村から示された複数のテーマから解決可能な課題を設定し、チームでリサーチ活動を行いながら解決策を提案します。

【プログラムの構成】

「スキル系科目(WEBオンデマンド)」 「グループワーク（木曜夜間：オンラインセッション）」 「フィールドワーク（2日間）」 「成果報告会（1日）」 =合計約40時間程度のプログラム=

【プログラムの狙い】

本プログラムでは、PBL（Project Based Learning）を通してこれからの社会に求められる「チェンジ・メイカー」へと成長することを目指し、以下の3つの力を伸ばすことに注力します。

- ①限られた時間の中で自ら課題を抽出することで、自ら考え抜く力を育てます。
- ②一連の活動をグループで行うことで、合意形成へ向けたコミュニケーション能力を育てます。
- ③現実に即した状況で解決策提案をゴールとし、やりきる経験を得ることで、実行力を育てます。

【PBLのテーマ】 提案先：片品村役場

テーマA：教育・文化 テーマB：ものづくり テーマC：商業・観光

群馬県片品村（フィールドワーク先）のご紹介

群馬県の北北東、尾瀬国立公園の麓に位置。東京方面からは約180キロ。関東地方唯一の特別豪雪地帯に指定。
主な産業は、宿泊業・観光業・飲食業・農業。林業など。
人口は約4,000人

片品村は、童謡『夏の思い出』でおなじみ、「夏がくれば思い出す、はるかな尾瀬」ヶ原の玄関口。

日本百名山の名峰（武尊山・日光白根山・至仏山）の山岳景観と、丸沼・菅沼の湖水美に恵まれ、美しい里山風景が広がります。

「観光」と「農業」が基幹産業で、村内には9の温泉郷と5つのスキー場、200軒あまりの宿泊施設があり、尾瀬の雪解け水を栽培に生かした高原野菜や果物は、片品村農産品ブランドとして親しまれています。



●日程 2024年9月～11月(全9回)

授業スケジュール	日 程	開催場所	概 要
セッション0	複数日程	ZOOM	【事前ガイダンス】 プログラム概要説明
セッション1	9/27(金) 午後	立命館東京	【キックオフ】 ①開講式 ②基礎講座 ③チームビルディング
セッション2	10/3(木)	ZOOM	【課題理解と発見】 ①課題を深めるミニ講座 ②チーム活動
セッション3	10/11(金)-12(土)	片品村	【現地フィールドワーク】 ①片品村見学 ②現地関係者との対話会
セッション4	10/17(木)	ZOOM	【課題整理と検討】 ①FW成果共有 ②チーム活動
セッション5	10/24(木)	ZOOM	【解決策検証】 ①現地事業者との対話 ②チーム活動
セッション6	10/31(木)	ZOOM	【ブレ発表】 ①ブレ発表 ②意見交換 ③チーム活動
セッション7	11/7(木)	ZOOM	【検討と修正】 ①チーム進捗報告 ②チーム活動
セッション8	11/15(金)	片品村	【現地成果報告会】 ①最終プレゼンテーション ②提案先との対話会
セッション9	11/21(木)	ZOOM	【ポストセッション】 ①グループリフレクション ②総評/クロージング

※セッション1(立命館東京キャンパス)、セッション3、8(片品村)は対面実施。

※その他の夜間セッション(19:00-21:30)は遠隔(ZOOM)開催。各セッションの概要は変更になる可能性があります。



【成果（各チームの提案）】

A（教育・文化）：村の救世主を育てる！ インターン留学

「台湾」に学生・社会人を派遣留学。

観光学・情報学等を学び、現地・リモート問わず仕事を持ち、片品村に定住する人を増やす。

B（ものづくり）：ALL KATASHINA PROJECT

①新たなグルメ：かたしな担々麺（片品の特産品を詰め込んだ一杯・ALL KATASHINAの代名詞）

②新たな交流拠点：コワーキングスペースを役場の中に設置（村民の連携を高め新たな価値を創造）

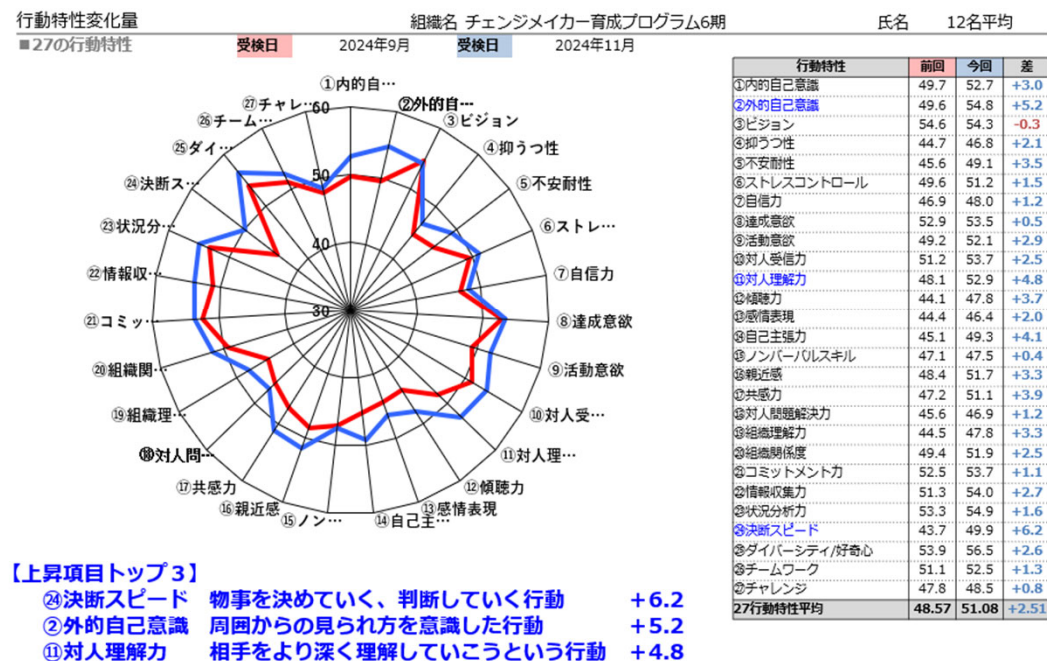
C（観光・商業）：国際自然循環ヴィレッジ尾瀬かたしな

持続可能なゼロミッション社会の実現を目標とし、片品村の観光・経済の活性化、地域ブランド強化

オゼロック〜O`ZEROCK〜尾瀬ゼロカーボンパークかたしなの新設



全体変化 -1回目 -2回目



アセスメントテスト（EQ） 行動特性変化



【POINT】

- 遠隔地から参加可能な「対面と遠隔（ZOOM）」のハイブリッドでの開催
- 各チームには議論をサポートするアドバイザーを配置
- 各セッション終了後「リフレクションシート」を記入、アドバイザーとチームメンバーからのフィードバック
- 「フィールドワーク」では、役場からのレクチャー他、現地事業者との対話、村内で活動する多様なメンバーとのディスカッションを実施
- 「グループ混成セッション」を複数回行い、他のチームの検討内容を共有しながら3つのチームが有機的につながるように進行
- 成果報告会は「片品村役場」で実施。村長をはじめ現地事業者・協力者の方々約40名を招いてハイブリッドで開催
- 研修派遣元企業と現地事業者との共創 新規プロジェクトの試行



1. 「大都市圏」と「地方」との経験交流・人材交流

地方の現状、企業や地域の課題を知る・視野を広げる
ライフキャリアデザイン、働き方、生き方の転換を考える機会に

2. 脱・予定調和のPBL（Project-Based Learning）課題解決型学習

背景の異なる受講者が「安心・安全な場」で真剣に議論する、自分事として
「課題の現場」で課題を見つけて実現可能な解決策をチームで提案

3. 自分自身の成長・変化を可視化する

プログラムの“プレとポスト”でアセスメントテスト（EQ）を実施
キャリアコンサルタントによるキャリア面談も実施

4. 実際のビジネスにつながる視座

チームの提案が“提案のまま”終わるのではなく、ジャパンラーニング社と
片品村との連携で新たな事業展開の可能性を追求